Panasonic

SmartLighting Eco

環境配慮型照明器具

施工説明書
取扱説明書

保管用

（一般屋内用）

品　番	タイプ
FSA（FSAH）21615A　FSA（FSAH）22615A　FSA（FSAH）22910A	下面開放タイプ
FSA（FSAH）22666A	Hfフリーコンフォート

※上記（）内は加工品番です。（以降、加工品番の記載を省略します。）

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

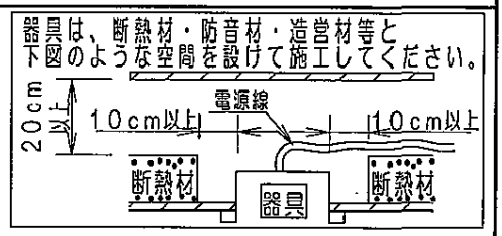
⚠警告

●施工は、施工説明にしたがい確実に行なう。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

●断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
火災の原因となります。

●天井埋込専用のため、壁取付や天井直付はしない。
落下・感電・火災の原因となります。

●器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。



●表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。　指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

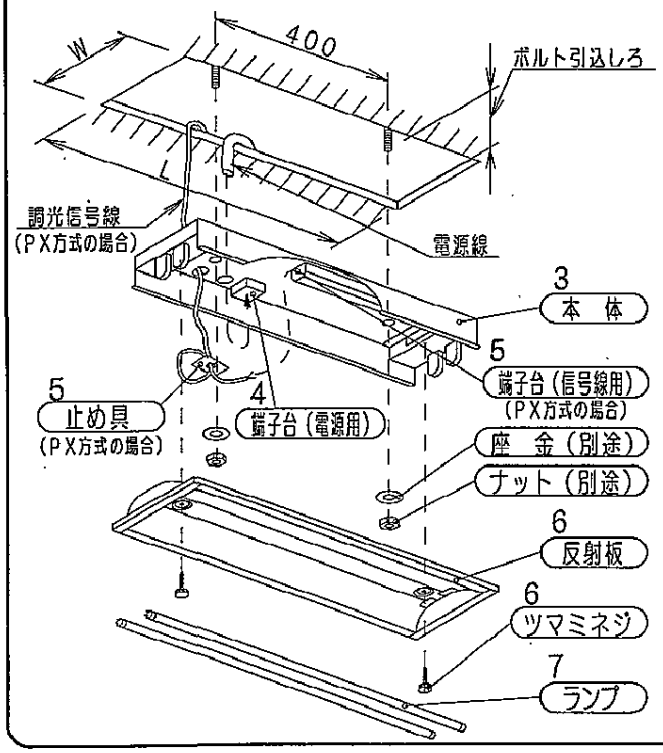
●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。　落下・感電・火災の原因となります。

●周囲温度は、5～35℃で使用してください。　指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。

各部のなまえと取付方法

<FSA21615A・FSA22615A・FSA22910Aの場合>
FSA22615Aの例で説明しています。

品　番	埋込穴寸法 WXL（mm）	ボルト引込しろ（mm）
FSA21615A FSA22615A	150X626	40～55mm
FSA22910A	300X639	65～80mm

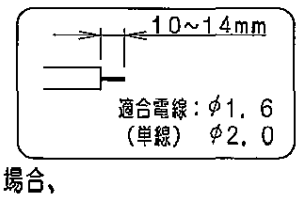


1　**取付前の確認**
- 器具質量（3．5kg：FSA22910Aの場合）に十分耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。
- 取付ボルトは、W3／8又はM10を使用する。
- 取付ボルトは極端な斜め出しにならないこと。
不備があると器具落下の原因となります。

2　**埋込穴の開口**
- 埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。

3　**本体の取付**
- 電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- 本体を取付ボルトに確実に取付ける。
（推奨トルク：0．8N・m）
（締め過ぎると器具が変形・破損する場合があります。）
不備があると器具落下・感電の原因となります。

4　**電源線・アース線の接続**
- 電源線、アース線を確実に差し込む。
- 端子台の容量は、20Aです。
（送り機能付）
- D種（第3種）接地工事が必要。
接地が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因となります。



5　**調光信号線の接続（PX方式の場合）**
- 次ページの説明文に従い、確実に接続してください。

6　**反射板の取付**
- ツマミネジを締め付けて反射板を確実に取付ける。
取付けが不完全な場合、反射板落下の原因となります。

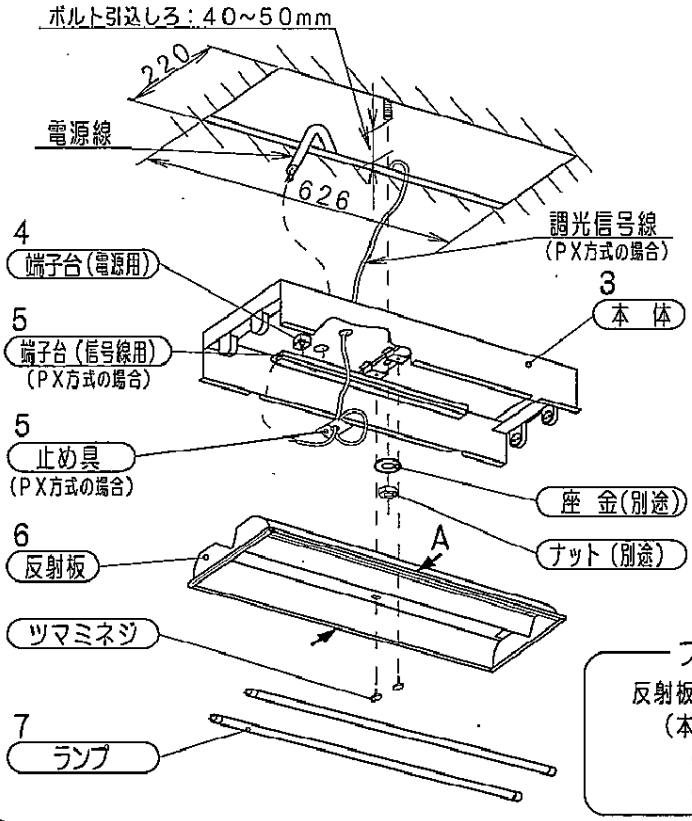
7　**ランプを確実に取付ける**
- ランプをソケットにセットしてから、90°回転させる。
取付けが不完全な場合、ランプ落下の原因となります。

各部のなまえと取付方法

⚠警告

施工は、取扱説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

＜ＦＳＡ２２６６６Ａの場合＞

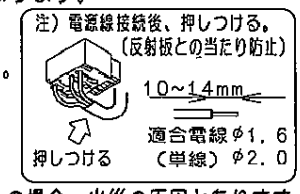


1　取付前の確認
・器具質量（３．７ｋｇ）に十分耐える様、ボルト取付部の強度を確保する。
取付ボルトは、Ｗ３／８又はＭ１０を使用する。
不備があると器具落下の原因となります。

2　埋込穴の開口
・埋込穴、取付ボルトを図の様に用意しておく。

3　本体の取付
・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・本体を取付ボルトに確実に取付ける。
（推奨トルク値０．８Ｎ．ｍ）
不備があると器具落下の原因となります。

4　電源線・アース線の接続
・電源線、アース線を確実に差し込む。
・端子台の容量は、２０Ａです。
（送り機能付）
・Ｄ種（第３種）接地工事が必要。
接地が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。



5　調光信号線の接続（ＰＸ方式の場合）
・下記の説明文に従い、確実に接続してください。

6　反射板の取付
・ツマミネジを締め付けて反射板を確実に取付ける。
取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

7　ランプを確実に取付ける
・ランプをソケットにセットしてから、９０°回転させる。
取付が不完全な場合、ランプ落下の原因となります。

プラスユニット取付の場合

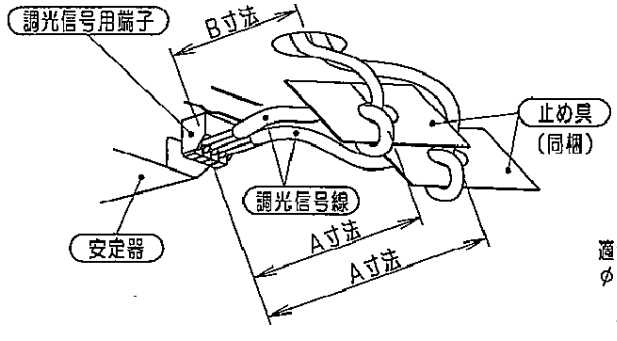
反射板のＡ寸法が一定になる様にツマミネジで調整する（次ページ参照）
（本体の締付けや天井強度によって条件が変わる場合があります）
・反射板が膨らんでいる場合　→　器具全長にわたって光が漏れる
・反射板が狭まっている場合　→　プラスユニット取付が固い

調光信号線の接続（ＰＸ方式の場合）

⚠警告

● 信号線接続は下記に従い確実に取付ける。不備がある場合、感電・火災の原因となります。

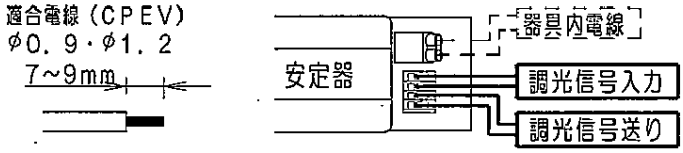
調光信号用端子に接続する場合



＊送り配線される場合は、２個の止め具を使用

＜信号線の接続と張力止め＞

1．調光信号線を止め具に一回転させる。
2．Ａ寸法がＢ寸法より長くなる様に調整する。
（安定器の調光用信号端子に直接張力が加わらないように調整する。）
3．調光信号線を安定器の調光信号線端子差込穴に確実に差し込む。
・調光信号線に極性はありません。
接続が不完全な場合、破損・火災の原因となります。



・適合コントローラ
●インバータライコン
●セルコン（セパレートセルコン，コンビニセルコン，スーパーマーケットセルコン等）
●調光Ｔ／Ｕ

・上記以外のものを使用の場合は弊社までお問い合わせください。
・コントローラとの結線又は制御可能台数は使用するコントローラの説明書を参照ください。

プラスユニットの取付（ＦＳＡ２２６６６Ａの場合）

注）本体が確実にナットで締め付けられているかもう一度ご確認ください。（緩んでいると正しく取付かない場合があります）

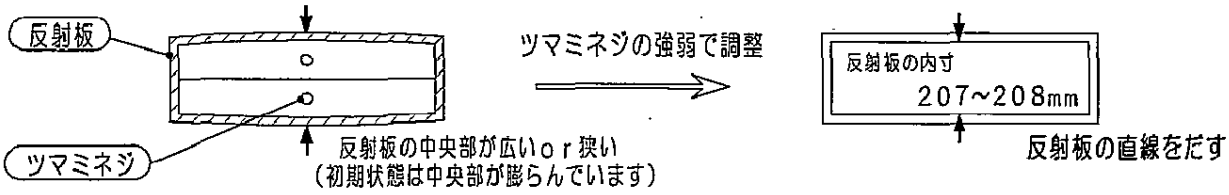
・プラスユニット・交換用給電部品ユニットの取付方法は、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

プラスユニット商品名	・ＦＳＫ２２２１５　（ＯＡ金属ルーバ　クラス１） ・ＦＳＫ２２２２５　（ＯＡ金属ルーバ　クラス２） ・ＦＳＫ２２２３５　（ＯＡ金属ルーバ　クラス３） ・ＦＳＫ２２２７０Ｆ（マルチコンフォート１５ルーバ）

・施工時、以下の点に注意して取付けてください。　<天井の強度によって反射板の形状を調整してください>

◇プラスユニットの全長にわたり光がもれている　→　ツマミネジを少し締めて、下図の様に反射板の直線をだしてください。

◇プラスユニットが反射板に当たって取付けが固い　→　ツマミネジを緩めて、下図の様にもう一度締め直してください。



取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具を改造しない。　落下・感電・火災の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠注意

●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。　感電の原因となります。
●アルカリ系洗剤は使用しないでください。　強度低下による破損の原因となります。
●照明器具には寿命があります。設置して１０年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●１年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
（チェックシート番号：ＣＬＸ２０２１ＢＡ）　点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

使用上のご注意

・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。

保証について

・保証について・・・・この商品の保証期間は１年間です。但し、安定器は３年間です。
ランプなどの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の保有期間・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しております。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換

・器具の清掃について　・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
・シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
・変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
・ランプ交換について　・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください）

交換部品	Ｈｆ蛍光ランプ	ＦＨＦ１６ＥＸ

⚠注意

●感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください
●やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周りにさわらないこと

パナソニック電工株式会社　施設・店舗照明事業部　〒571-8686　大阪府門真市門真1048

MN0306-060911　取説No. FSA21615A-T6